

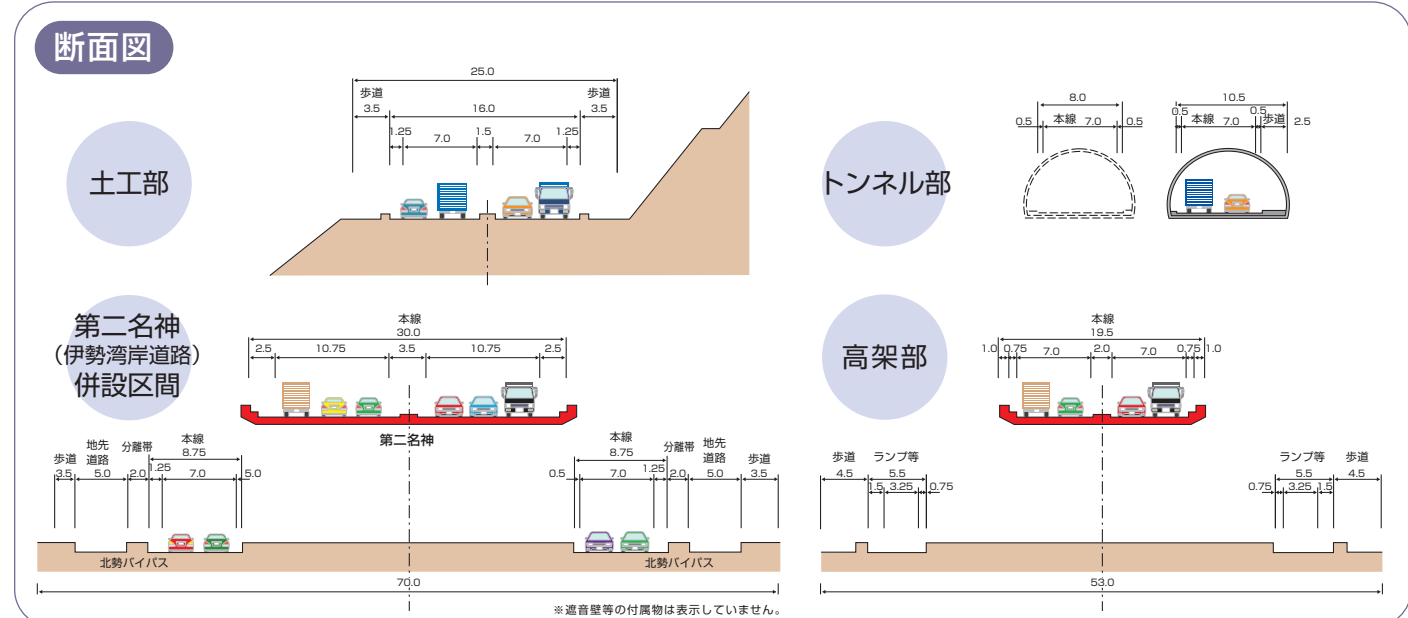
1 一般国道1号 北勢バイパス

■事業のあらまし

一般国道北勢バイパスは、三重県三重郡川越町南福崎(国道23号)から四日市市采女町(国道1号)に至る延長約28.4kmの幹線道路です。国道1号と国道23号並びに、内陸部の生活道路を適切に交通分散することによって交通混雑の緩和を図るとともに、道路交通の安全を確保し、さらには内陸部の地域開発を促進することも目指しています。

■概要

- 起点 三重県三重郡川越町南福崎
- 終点 三重県四日市市采女町
- 都市計画延長 28.4km
- 事業化延長 21.0km
- 幅員 W=25.0m (4車線×3.5m)
- 構造規格 第3種第1級 設計速度80km/h



■事業の歴史

- 平成2年度 都市計画決定
- 平成4年度 事業着手
- 平成11年度 工事着手
- 平成14年度 四日市市大矢知地区で北勢バイパス起工式
- 平成15年3月 三重郡川越町南福崎～四日市市広永町区間 2/4 車線開通(L=3.6km)



- 平成22年3月 四日市市広永町～同市大矢知町(市道大矢知富田線)区間 四日市市大矢知町(県道64号上海老茂福線)～同市垂坂町(市道垂坂1号線)区間 2/4 車線開通(L=2.5km)
- 平成23年3月 四日市市大矢知町(県道64号上海老茂福線)～同市大矢知町(市道大矢知富田線)区間 2/4 車線開通(L=1.0km)



(主) 上海老茂福線付近から川越方面を望む (平成23年2月撮影)

現在の状況

北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎(国道23号名四国道)～鈴鹿市稲生町(国道23号中勢バイパス)に至る延長約28kmの幹線道路で、現在、みえ川越IC～三重郡朝日町小向(国道1号)までの延長1.2kmを完成4車線で、三重郡朝日町小向～(市)垂坂1号線までの延長5.9kmを暫定2車線で開通しています。

また、四日市市垂坂町～(市)日永八郷線区間(延長1.4km)について、平成26年度暫定2車線の開通を目指しています。

本年度は、四日市市垂坂町～(市)日永八郷線間において改良工事、橋梁下部工事、橋梁上部工事等を進めるとともに、(市)日永八郷線～国道477号の橋梁下部工事及び用地取得、国道477号～四日市市采女(国道1号)間の調査設計を推進します。



開通区間終点から平成26年度開通区間を望む(平成25年3月撮影)



開通区間終点から平成26年度開通区間を望む(平成25年3月撮影)

整備効果

地域間の所要時間短縮、幹線道路の交通混雑が緩和

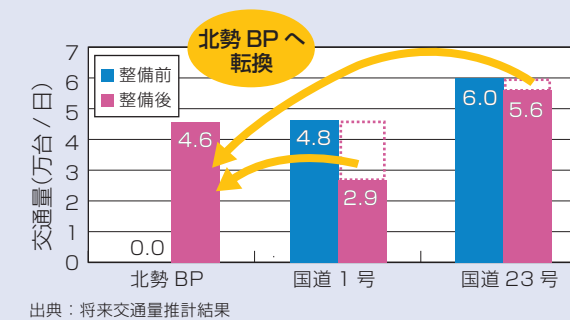
北勢バイパスの整備により、国道1号・23号の交通が分散されることで、移動時間の短縮や渋滞緩和が期待されます。



北勢バイパスにより通過交通が転換、並行区間の渋滞が緩和

北勢バイパスの整備により、通過交通を分担するバイパス機能を発揮し、交通転換により交通渋滞を緩和します。

北勢バイパスへの交通転換



渋滞状況



災害に強い道路機能の確保

北勢バイパス周辺の北勢地域では、一般国道1号及び23号が緊急輸送路(1次)に指定されていますが、東海・東南海・南海同時発生の際は、津波による浸水被害を受けると予想されている区域内に位置しています。

内陸部に位置する北勢バイパスの整備により、津波浸水域外の緊急輸送道路が確保され、災害時の物資輸送を支援できます。

津波の浸水予測(平成23年度版)(防潮堤等の施設がないとした場合、M8.7)

